

佐野市景況レポート

平成29年10～12月期



佐野商工会議所

〒327-0027 佐野市大和町 2687-1

TEL 0283 (22) 5511 FAX 0283 (22) 5517

HP <http://www.sanocci.or.jp>

E-mail s-cci@sanocci.or.jp

調査協力：佐野市あそ商工会

佐野市景況調査報告

(平成29年10～12月期)

佐野市内の建設業・製造業・商業・飲食店・サービス業290社を対象に調査し、195社(回答率67.24%)から回答がありましたものを取りまとめたものです。

《 概 況 》

原材料・仕入価格が上昇するも価格転嫁が進まない

【平成29年10～12月期実績】

全業種業況DI指数は▲9.7、前期(平成29年7-9月期)比+11.5ポイントと大幅な業況改善となりました。利益DI指数は▲20.7(前期比+3.1)、売上高DI指数は▲9.0(前期比+10.1)と、売上高の大幅なポイント上昇が業況改善に繋がりました。また、製品・商品在庫DI指数は0.5(前期比▲2.9)と在庫が低下していることから、業況改善が確認できます。一方、原材料・仕入価格全業種DI指数は+30.7(前期比+9.9)と直近の高指数である平成27年4-6月期に迫る上昇です。当時のドル/円120円台に比べ、当期は113円前後と、円高になっているにもかかわらず原材料・仕入価格が上昇しています。

【平成30年1～3月期見通し】

全業種業況DI指数は▲15.0(前期比▲7.4)と、今後3か月間の業況悪化を予想しています。売上高DI指数は▲9.2(前期比▲6.1)、仕入価格DI指数は+18.9(前期▲1.1)、販売価格DI指数は▲6.1(前期比▲7.6)です。平成30年1～3月期の見通しは、仕入価格は高止まりを予測するが、売上高減少と販売価格の低下予測により業況悪化を予想しています。

【事業所等の景況コメント】

景況に関するコメントには、「原材料・仕入価格の上昇」が多く挙げられました。原材料・仕入価格が上昇しているにもかかわらず、販売価格に転嫁できない厳しい状況が見られます。今後、付加価値の向上等、顧客が納得する値上げが必要な状況になると予想します。

〔佐野市内における業況天気図〕

	実 績 (平成29年10～12月期)		見通し (平成30年1～3月期)	
業 況	▲9.7		▲15.0	
売 上 高	▲9.0		▲9.2	
販 売 価 格	▲3.5		▲6.1	
仕 入 価 格	30.7		18.9	
労 働 力	▲21.4		—	—

* 天気図の説明
(数字はDI値)
・仕入価格はDI値
をマイナス評価

晴れ	薄日	曇り	小雨	雨
26以上	11～25	10～▲10	▲11～▲25	▲26以下

調査協力：OKコンサルティング 代表 岡野 清 (中小企業診断士)

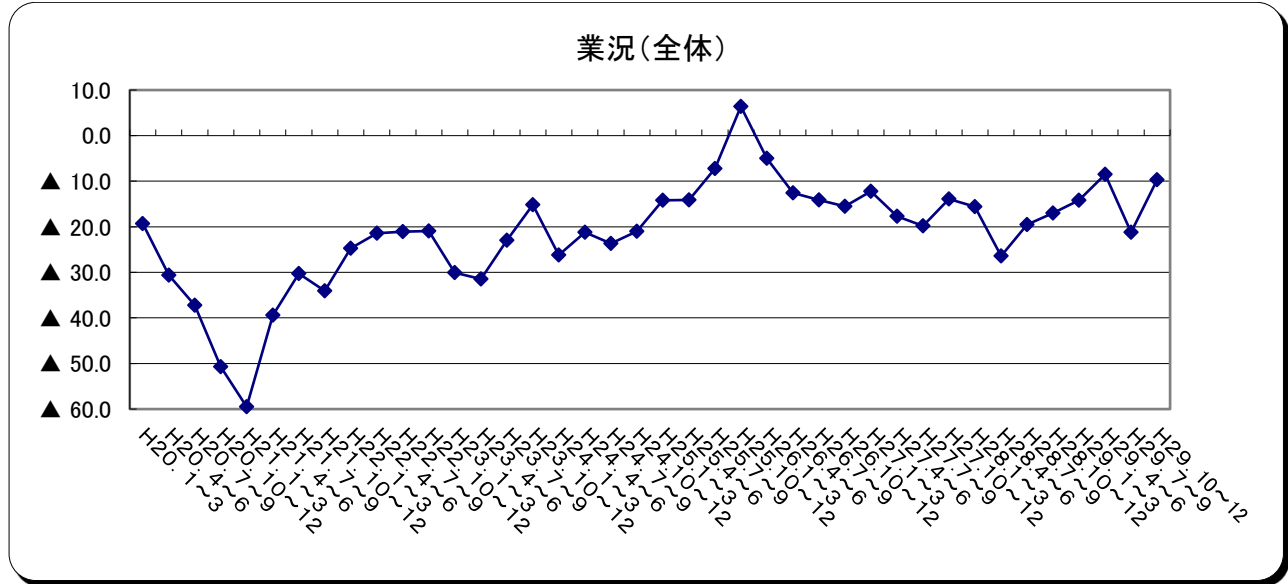
☆ 業況について（平成 29 年 10～12 月期実績）

全業種 DI 指数▲9.7、前期比 11.5 ポイント上昇
業種別 DI 指数（上位 5 業種）



- ①その他の製造業 27.3 ポイント、②建設業 17.6 ポイント、③機械・金属製造業 12.0 ポイント、④化学・プラスチック製造業及びサービス業 0.0 ポイント

良い
↑
悪い



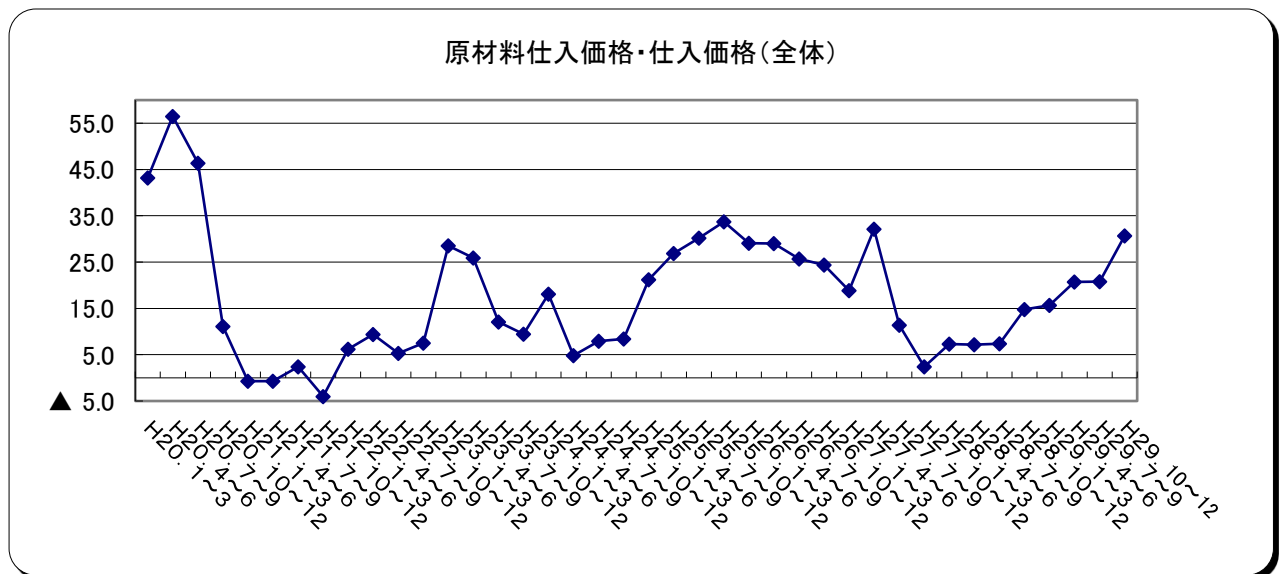
☆ 原材料仕入価格・仕入価格について（平成 29 年 10～12 月期実績）

全業種 DI 指数 30.7、前期比 9.9 ポイント上昇
業種別 DI 指数（上位 5 業種）



- ①その他の製造業 78.9 ポイント、②飲食店 64.3 ポイント、③卸売業及び小売業（飲・食料品） 42.9 ポイント、⑤機械・金属製造業 40.5 ポイント

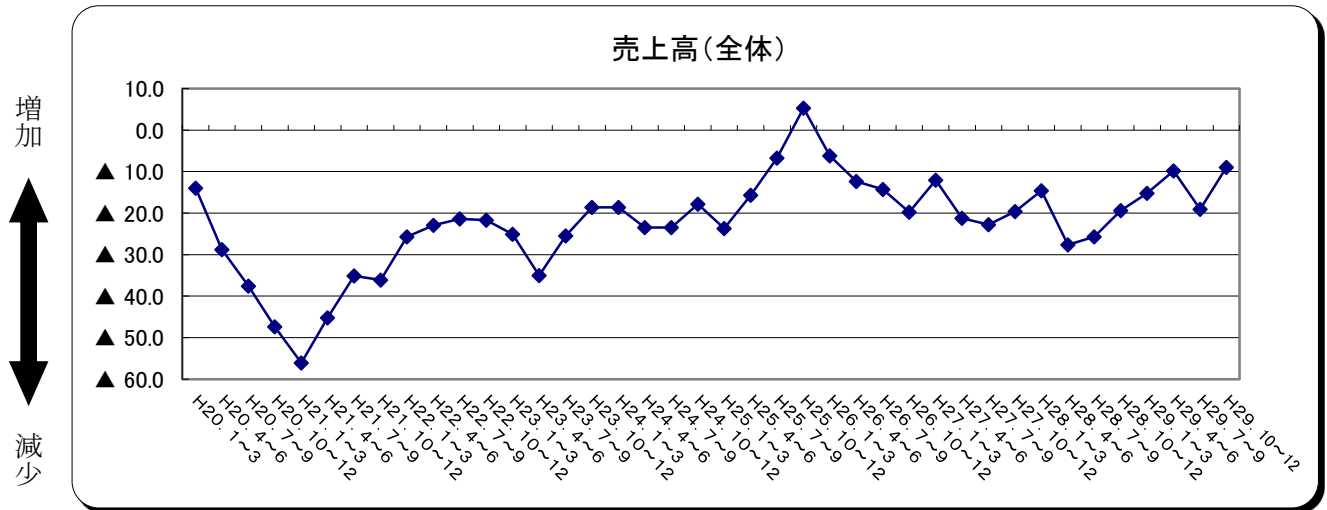
上昇
↑
下落



☆ 売上高について（平成 29 年 10～12 月期実績）

全業種 DI 指数▲9.0、前期比 10.1 ポイント上昇
業種別 DI 指数（上位 5 業種）

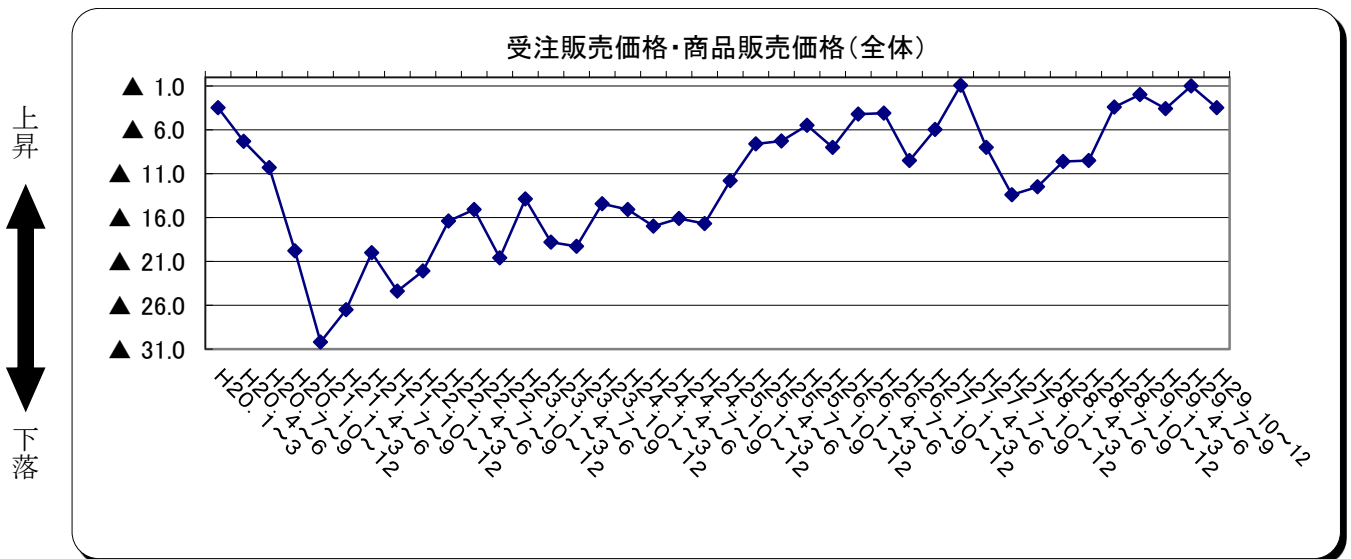
- ①その他の製造業 27.3 ポイント、②建設業 18.8 ポイント、③化学・プラスチック製造業 9.4 ポイント、④サービス業 8.1 ポイント、⑤繊維品製造業 0.0 ポイント



☆ 受注販売価格・商品販売価格について（平成 29 年 10～12 月期実績）

全業種 DI 指数▲3.5、前期比 2.5 ポイント低下
業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①卸売業 9.7 ポイント、②機械・金属製造業 3.8 ポイント、③建設業及び設備業、小売業（飲・食料品）、サービス業 0.0 ポイント



☆ 製品（材料）在庫・商品在庫について（平成 29 年 10～12 月期実績）

全業種 DI 指数 0.5、前期比 2.9 ポイント低下
業種別 DI 指数（上位 5 業種）

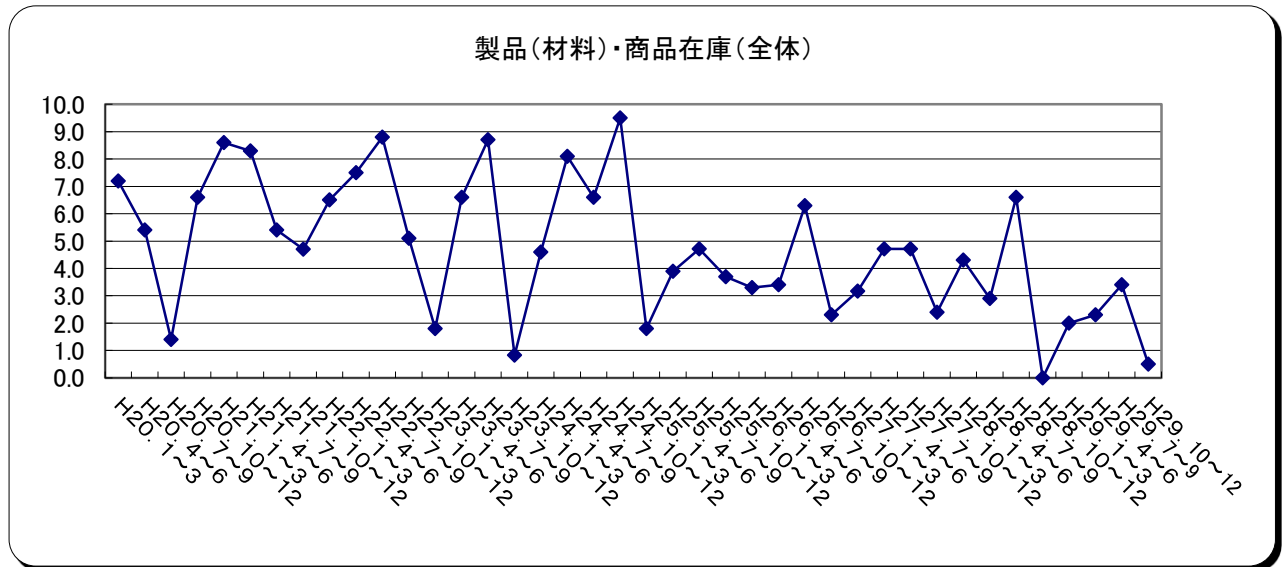


- ①卸売業 10.3 ポイント、②飲食店 9.1 ポイント、③小売業（飲・食料品）7.7 ポイント、④機械・金属製造業 7.5 ポイント、⑤化学・プラスチック製造業 4.3 ポイント

過大

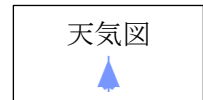


不足



☆ 利益状況について（平成 29 年 10～12 月期実績）

全業種 DI 指数▲20.7、前期比 3.1 ポイント上昇
業種別 DI 指数（上位 5 業種）

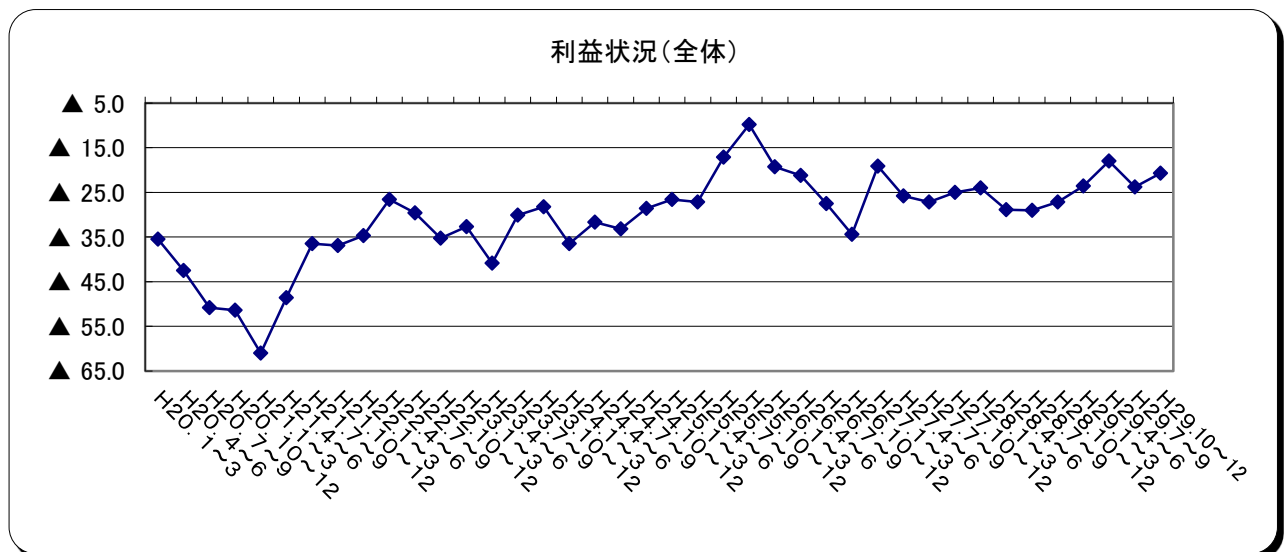


- ①その他の製造業 13.0 ポイント、②サービス業 0.0 ポイント、③化学・プラスチック製造業▲4.6 ポイント、④設備業▲8.6 ポイント、⑤建設業▲9.1 ポイント

増加



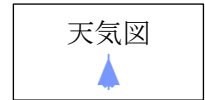
減少



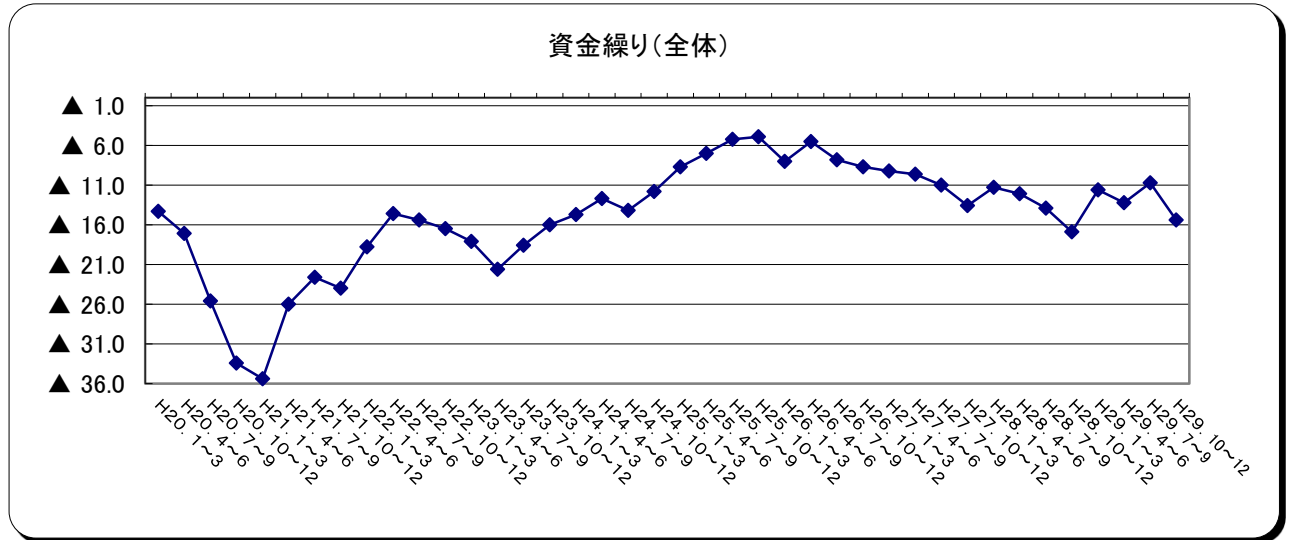
☆ 資金繰りについて (平成 29 年 10~12 月期実績)

全業種 DI 指数▲15.4、前期比 4.7 ポイント低下
業種別 DI 指数 (上位 5 業種)

- ①その他の製造業 13.0 ポイント、②食品製造業及び卸売業 0.0 ポイント、④機械・金属製造業▲3.8 ポイント、⑤繊維品製造業▲7.3 ポイント



楽
↑
↓
苦しい



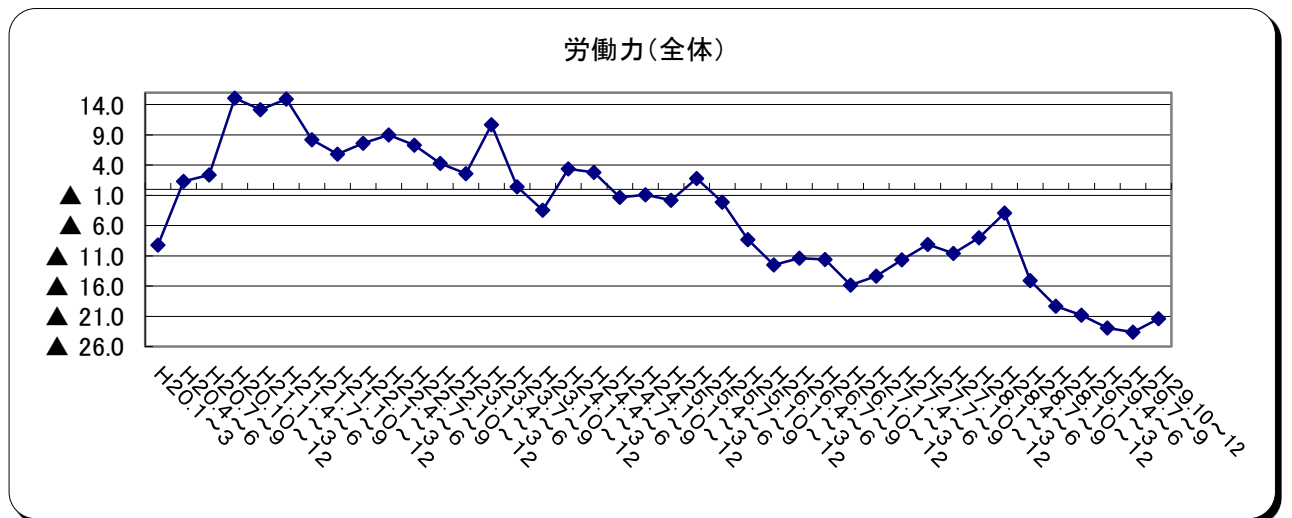
☆ 労働力について (平成 29 年 10~12 月期実績)

全業種 DI 指数▲21.4、前期比 2.2 ポイント上昇
業種別 DI 指数 (上位 5 業種)

- ①繊維品製造業及び卸売業 0.0 ポイント、③設備業▲7.7 ポイント、④その他の小売業 (大型店含む) ▲10.0 ポイント、⑤その他の製造業▲13.0 ポイント



過剰
↑
↓
不足



☆ 設備稼働率について（平成 29 年 10～12 月期実績）
（建設・設備・製造業関係）

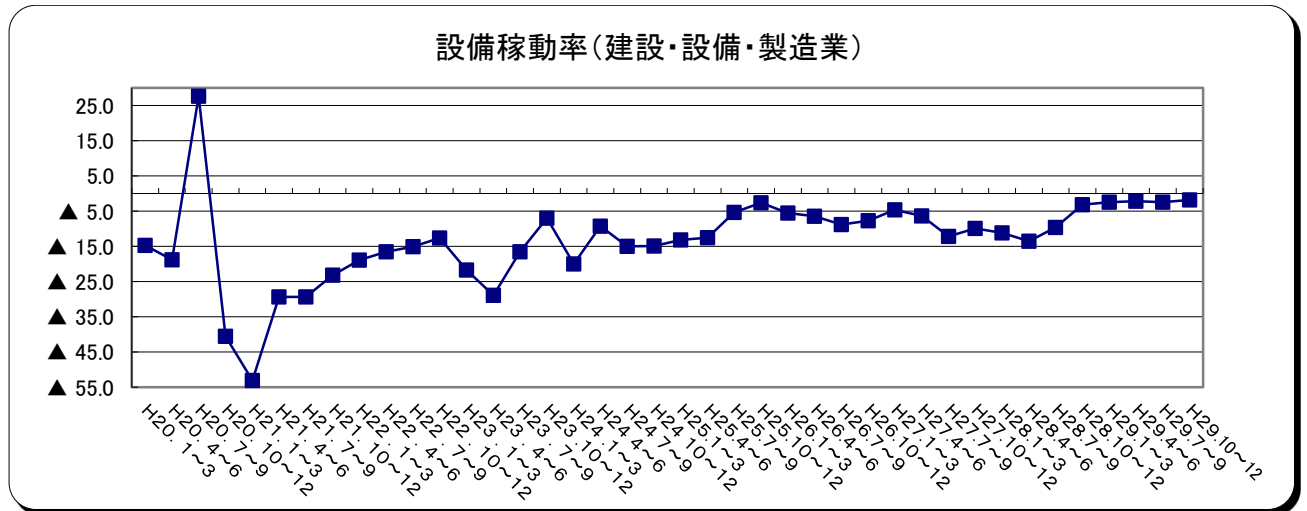
全業種 DI 指数▲1.8、前期比 0.6 ポイント上昇

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①その他の製造業 27.3 ポイント、②化学・プラスチック製造業 4.3 ポイント、③食品製造業 0.0 ポイント、④機械・金属製造業▲4.0 ポイント、⑤設備業▲7.7 ポイント



高い
↑
↓
低い



☆ 販売経費について（平成 29 年 10～12 月期実績）
（商業・サービス業関係）

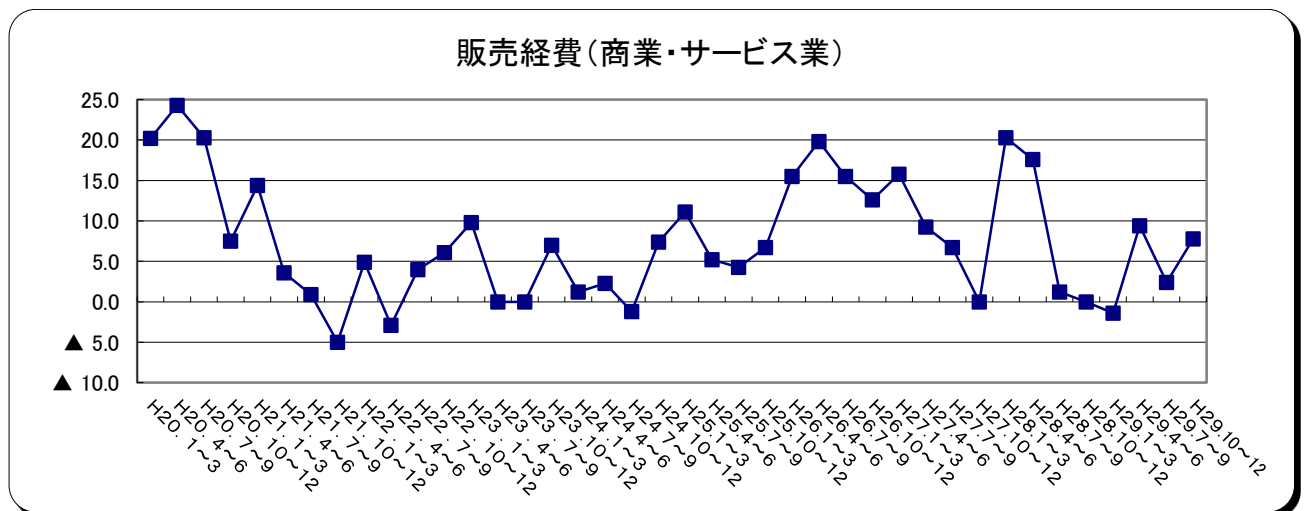
全業種 DI 指数 7.8、前期 5.4 ポイント上昇

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①卸売業 20.0 ポイント、②小売業（飲・食料品）15.8 ポイント、③サービス業 15.0 ポイント、④その他の小売業（大型店含む）及び飲食店 0.0 ポイント

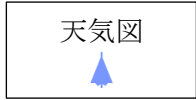


増加
↑
↓
減少



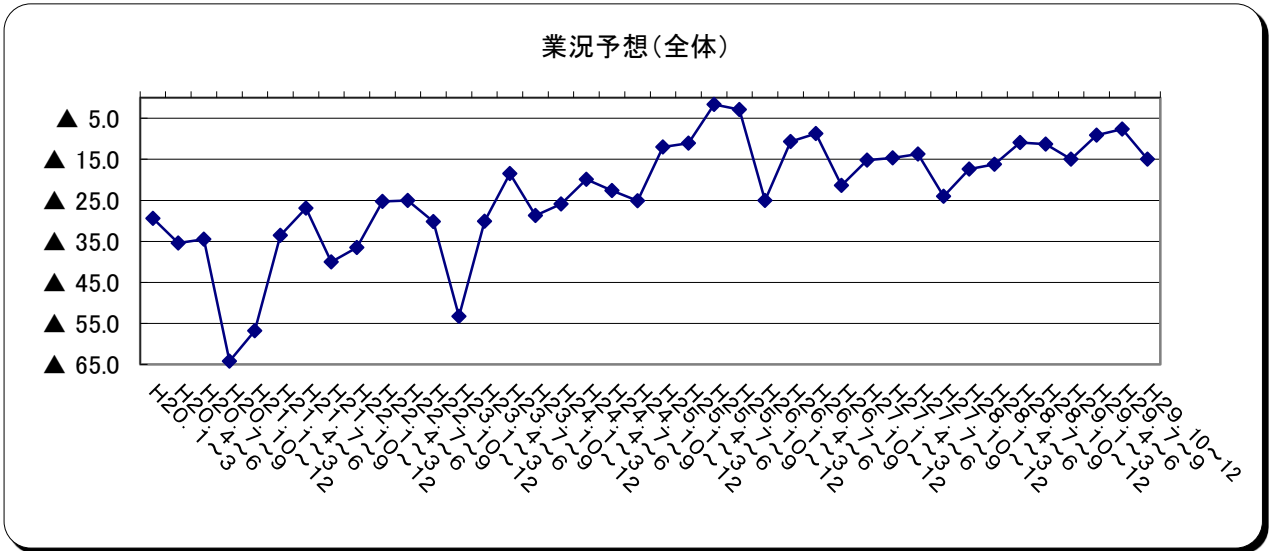
☆ 今後3ヶ月先（平成30年1～3月期の見通し）の業況について

全業種DI指数▲15.0、前期比7.4ポイント低下
業種別DI指数（上位5業種）



- ①その他の製造業 27.3ポイント、②建設業 9.1ポイント、③化学・プラスチック製造業▲8.3ポイント、④卸売業▲10.3ポイント、⑤サービス業▲15.0ポイント

良い
↑
悪い



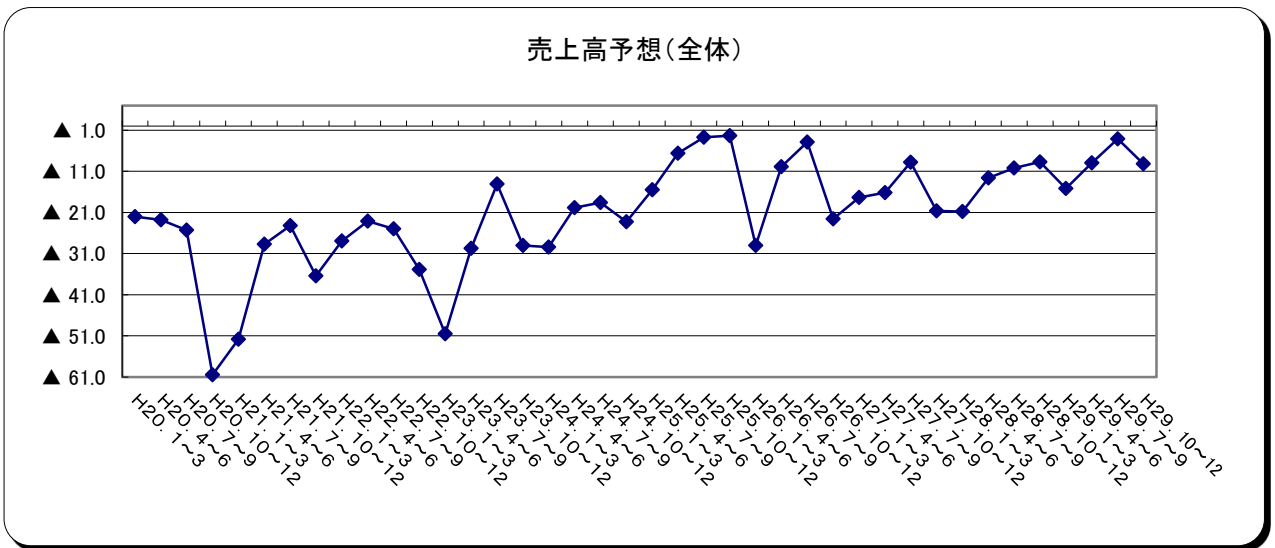
☆ 今後3ヶ月先（平成30年1～3月期の見通し）の売上高について

全業種DI指数▲9.2、前期比6.1ポイント低下
業種別DI指数（上位5業種）



- ①その他製造業 27.3ポイント、②飲食店 4.5ポイント、③サービス業 0.0ポイント、④化学・プラスチック製造業▲4.2ポイント、⑤小売業（飲・食料品）▲8.1ポイント

良い
↑
悪い

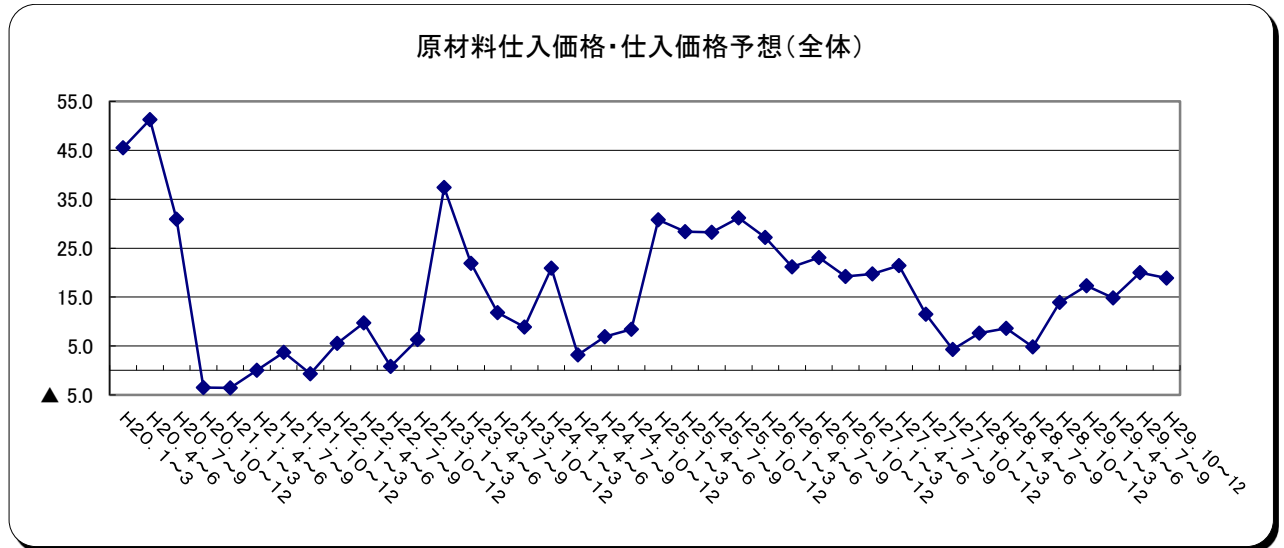
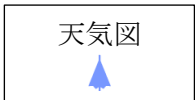


☆ 今後3ヶ月先（平成30年1~3月期の見通し）の原材料仕入価格・仕入価格について

全業種DI指数 18.9、前期比 1.1ポイント低下

業種別DI指数（上位5業種）

- ①その他の製造業 42.9ポイント、②飲食店 40.0ポイント、③小売業（飲・食料品）33.3ポイント、④機械・金属製造業 28.0ポイント、⑤その他の小売業（大型店含む）26.3ポイント

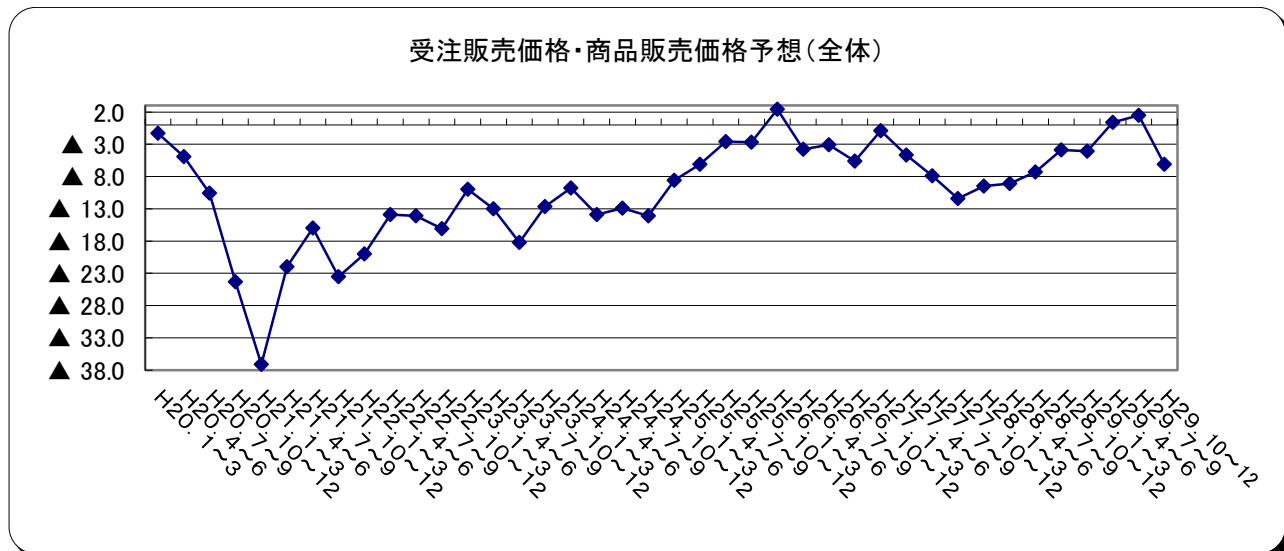


☆ 今後3ヶ月先（平成30年1~3月期の見通し）の受注販売価格・商品販売価格について

全業種DI指数 ▲6.1、前期比 7.6ポイント低下

業種別DI指数（上位5業種）

- ①卸売業及び小売業（飲・食料品）、飲食店 0.0ポイント、④機械・金属製造業 ▲3.8ポイント、⑤化学・プラスチック製造業 ▲4.1ポイント



☆ 市内各事業所からの景況に関するコメント ☆

※景況調査にご協力いただきました事業所のうち、「景気に対するコメント欄」にご記入いただいた内容を、そのまま掲載しております。

建設業

- ・若手職人（3K職場）の人材不足で、困っています。

設備工事業

- ・景気が良いのは、東京圏だけで、地方への波及効果はありません。

繊維品製造業

- ・現在の人員は充足しているが、優秀な人を選びづらくなっている。
- ・10～12月は非常に忙しかったが、先行きは不透明です。

食品製造業

- ・健康管理をしっかりと、年末年始をむかえたいと思います。平成30年は良い年にしたいものです。
- ・2019消費増税ですね！景気悪くならない事を祈ります。
- ・天候不順による原料（野菜）高騰とガソリン代値上げが大きく影響しています。
- ・来春の3%賃上げ、所得税増税など連日報道されているが、佐野市民にはどれだけ影響があるのだろうか気になる場所である。県内、市内外の平均年収と当社とではどれだけの剥離があるかわかると、今後の給与を考えるうえで参考になる。（民間対比のみ）
- ・特にありませんが、人手不足を感じています。

機械・金属製品製造業

- ・大手企業はバブル到来か、などとテレビなどで報道されているが零細企業は仕事(受注)はあるが利益がない。
- ・仕入価格が急速に大幅に上昇しており、販売価格への転嫁が追いつかず採算の悪化が進んでいる。但し、市中在庫の減少で来春早々に価格転嫁は進展すると思う。
- ・景気上昇で年末年始海外旅行者が増加しているとニュースで聞きましたが、周辺ではあまり良い話は聞かれません。何を基準にしているのかギモンです。ミサイル発射の心配もあるのに、危機感はないのでしょうか？
- ・景気としては横ばい状況で推移している。他社から仕入れて転売の割合が増加傾向にあり、付加価値的にも減少している。

化学・プラスチック製品製造業

- ・客先期末（3月）までの設備投資が少ない。先行きの設備投資は見えて年末は多いが1～3の3ヶ月が落ち込みそう。やや生産高が落ちそう。
- ・プラスチック原料上昇傾向。
- ・切実な人手不足。
- ・今月が従業員なしである仕事をしています。体調を悪くしてから仕事を減らしました。1、2、3得意先の決算のため生産調整のため注文が減ります。
- ・省力化の機器類に使用する部品が10月～増加しているが1月以降は不明。

その他製造業

- ・材料価格が上昇して調達に苦慮している。売上げは上昇傾向にあるが生産効率が良くない。円安は仕入れに良くない。価格は相変わらず厳しい。
- ・全般的には、もちあいの状況ですが、一部に仕事増の状況がある。今後も地域格差が出ると思われる。

卸売業

- ・配送料改定相次ぐ。

小売業（飲・食料品）

- ・年末、年始色んな所が休みで在庫と仕込みが大変です。今頃仕入先の休みが多くなり、我社も出来る限り営業します。しかし、仕込みが間に合いません。
- ・例年 10 月～12 月の売上げは上昇する時期ですが、今年は上昇しない。景気が悪いのか、食に対して志向が変わっているのか？
- ・No.2 の 1 と No.4 の 1 は夏の悪天候の影響で、相変わらず野菜の高値続きの為です。

その他の小売業（大型店含む）

- ・全国的な業況が著しく悪い予想をしている。
- ・周辺商圈にてドラッグストアがオープン。競争環境は厳しいものになると思われます。（特に食料品・消耗品）
- ・ぜんぜん景気は普通です。
- ・大きな変化ではないが、業況（売上、利益等）少し良くなっているような気がしています。

飲食店

- ・年末年始の売上は伸びます。
- ・年末年始休まず営業してみます。どの位客数が増加するのか？現状維持だった場合年内（来年）で店を閉める事も視野に入れて営業頑張ってください。
- ・年末ですので。水商売ですから。
- ・当期は忘年会時期でもあり売上はまあまあながら、年々客単価は、下がっています。
- ・10～11 月は売上が減少しましたが、12 月になって上向きになってきました。
- ・利益が減少した分借入金で賄っている。10%も売上げが上れば何とかなる。

サービス業

- ・不動産に関しては、事業系も住宅系も安定したニーズの高まりがあるので、仕入に力を入れていきたい。
- ・遠方の仕事が多いので、経費が多く掛かる。近場の仕事が少ない。

佐野市景況調査 要項

- 1 調査時期 平成29年10月～12月
- 2 調査業種 佐野市内に本支店を有する建設業・製造業・商業・サービス業・飲食店など290社（内訳：佐野商工会議所地区（旧佐野市）200社、佐野市あそ商工会地区（旧田沼町・旧葛生町）90社）を対象として実施した。

(1) 建設業

① 建設業	25社
② 設備工事業	21社

(2) 製造業

① 繊維品製造業	22社
② 食品製造業	18社
③ 機械・金属製品製造業	40社
④ 化学・プラスチック製品製造業	36社
⑤ その他の製造業	22社

(3) 商業・サービス業

① 卸売業	15社
② 小売業（飲・食料品）	23社
③ その他の小売業（大型店含む）	27社
④ 飲食店	19社
⑤ サービス業	22社

3 分析方法[景況動向指数（D I）による]

景況指数は、好況・不況の差を指数にしたものであり、基準指数が「0」で上限限度は、+100・-100となり、プラスは景況の好転、マイナスは景況の悪化をあらわしている。

D I 方式は、
$$\frac{3x - 3z}{3x + 4y + 3z} \times 100$$
により算出

x：「良い」「増加」「騰貴」「過多」等の回答企業数

y：「普通」「ほぼ同様」「適正」の回答企業数

z：「悪い」「減少」「下落」「不足」等の回答企業数

- 4 主 管 佐野商工会議所
- 5 調査協力 佐野市あそ商工会
- 6 お問合先 佐野商工会議所経営支援課 TEL（代表）0283-22-5511



商工会議所は、あなたの身近な応援団
佐野商工会議所

※この統計調査は、「平成 29 年度伴走型小規模事業者支援推進事業」として実施したものです。